

Bluetooth™ レシーバーユニット TRX-R01BT 取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他のの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

<div><div>△</div><div>「ご注意ください」という注意喚起を示します。</div></div>	<div><div>⊘</div><div>「～しないでください」という「禁止」を示します。</div></div>
<div><div>●</div><div>「必ず実行してください」という強制を示します。</div></div>	

▲ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	
⊘ 分解禁止 <p>分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。火災や感電の原因となります。</p> <p>修理・調整は販売店にご依頼ください。</p>	
⊘ 水ぬれ禁止 <p>本機を下記の場所には設置しない。</p> <ul style="list-style-type: none">浴室・台所・海岸・水辺 加湿器を過度にしかせた部屋 雨や雪、水がかかるところ <p>水の混入により、火災や感電の原因になります。</p>	
⊘ 禁止 <p>医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。</p>	
! 必ず行う <p>心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する。</p> <p>本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。</p>	
⊘ 禁止 <p>本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。</p> <ul style="list-style-type: none">水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。	
▲ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。	
⊘ 禁止 <p>不安定な場所や振動する場所、滑りやすい場所には設置しない。</p> <p>本機が落下や転倒して、けがの原因になります。</p>	
⊘ 禁止 <p>直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。</p> <p>本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。</p>	
⊘ 禁止 <p>ほこりや湿気が多い場所に設置しない。</p> <p>ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。</p>	
! 必ず行う <p>無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。</p> <p>遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。</p>	
! 注意 <p>環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。</p> <p>正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。</p>	
⊘ 薬物厳禁 <p>ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。</p> <p>外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。</p>	

ヤマハ Bluetooth™ レシーバーユニット TRX-R01BT をご購入しただげいただき、まことにありがとうございます。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

保証書別添付

Bluetooth™ について

・Bluetooth™ とは無許可使用可能な 2.4GHz 帯の電波を利用して約 10m 以内にある機器と無線で通信を行うことができる技術です。
・Bluetooth™ は、Bluetooth SIG の登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth™ 通信の取扱いについて

・TRX-R01BT の Bluetooth™ 機能は、日本国内のみでお使いください。
・Bluetooth™ 対応機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が共有する電波帯です。Bluetooth™ 対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
・通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。


無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

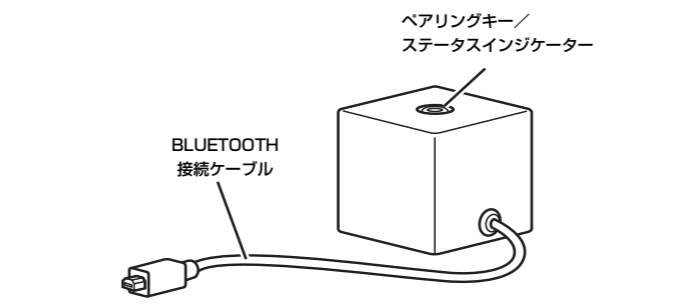
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合には、裏面の“お客様ご相談センター”へお問い合わせください。

本機の無線方式について

2.4FH1

「2.4」	2.4GHz 帯を使用する無線設備
「FH」	変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）
「1」	想定干渉距離が 10m 以内
	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

■ 各部の名称



■ ペアリングをする

ペアリングとは、Bluetooth™ 通信をする携帯電話など（以下“相手機器”とする）を登録する操作です。下記の手順にしたがってペアリングしてください。

★

・ペアリングするには本機側の操作に加え、Bluetooth™ 通信をする相手機器側の操作や、本機とケーブル接続をする機器側の操作や設定が必要になります。必要に応じて、これらの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
・セキュリティ確保のため、ペアリング操作には60秒間の制限時間が設けられています。一度すべての手順を読んでから、実際の操作を行なうことをお勧めします。

- 本機のBLUETOOTH接続ケーブルを本機との接続に対応したアンプまたはアンプ内蔵スピーカーなど(以下“接続機器”とする)のBLUETOOTH端子に接続する。
- 接続機器のACプラグまたはACアダプターをコンセントに差し込み、必要に応じて接続機器の電源をオンにし、入力を切り替える。
- 本機のステータスインジケーターが消灯していることを確認し、本機上面のペアリングキーを押す。本機はペアリングモード（ステータスインジケーターが1秒間隔で点滅）に入ります。
- 本機に対応している相手機器（東芝携帯電話“W41T”（2006年2月現在）で Bluetooth™ 機器を探索する。
 - 相手機器の操作については、相手機器に付属の取扱説明書をお読みください。
 - 探索が完了すると相手機器の探索結果リストに「TRX-R01BT」が表示されます。
 - 探索結果リストに機器名ではなくアドレスが表示される場合は、本機底面に記載されたアドレス（00 A0 DE 01 xx xx（xは0～9の数字またはA～Fのアルファベット））を確認し、手順5で本機のアドレスを選択してください。
 - 「TRX-R01BT」または本機のアドレスが表示されない場合は、手順3から操作をやり直してください。

5 本機のステータスインジケーターが消灯している場合は、再度ペアリングキーを押して本機をペアリングモードにする。
6 リストから「TRX-R01BT」または本機のアドレスを選択する。
7 パスキーの入力を要求されたら、数字で「3210」と入力する。
ステータスインジケーターが5秒間高速点滅した後、消灯すれば本機側のペアリング処理は完了です。相手機器側のペアリング処理も完了したことを確認してください。ステータスインジケーターが高速で点滅しなかった場合や、相手機器側のペアリング処理が失敗した場合は、手順3から操作をやり直してください。

ご注意

・本機と相手機器がBluetooth™通信中の場合、ペアリングキーを押してもペアリングモードに入りません。また、ペアリングモード中は、相手機器とBluetooth™通信をすることはできません。間違ってペアリングモードに入った場合は、ペアリングキーを短く押してペアリングモードを終了してください。
・本機は最大3台の相手機器とペアリングができます。4台目の相手機器とのペアリングが成功し、ペアリング情報が記録されると、3台目の相手機器とのペアリング情報は削除されます。
・ペアリング操作中に本機への電源供給が断たれると、ペアリング情報が破棄されることがあります。その場合は、「ペアリング情報を削除する」の手順を行った後で、再度ペアリングしてください。

■ 使用方法

- 本機のBLUETOOTH 接続ケーブルが接続機器のBLUETOOTH端子に正しく接続されていることを確認する。
- 必要に応じて、接続機器の電源をオンにし、入力を切り替える。
- 本機のステータスインジケーターが消灯していることを確認する。
- 相手機器の音声出力先を「TRX-R01BT」に設定する。
- 相手機器で音声の Bluetooth™ 送信を開始する。相手機器との Bluetooth™ 通信が始まると本機のステータスインジケーターが点灯し、接続機器から音声が出力されます。
- 相手機器で音声の Bluetooth™ 送信を終了する。Bluetooth™通信が切断され、本機のステータスインジケーターが消灯します。

ご注意

同時に複数の相手機器と Bluetooth™ 通信をすることはできません。

■ トラブルシューティング

相手機器と本機がペアリングできない

下記を確認してください。

- ご使用の相手機器が本機に対応しているか
- 本機が相手機器から 10m 以内の場所にあるか
- 2.4GHz帯の電波を発する機器（電子レンジや無線LANなど）が近くで動作していないか
- 本機と接続機器が正しく接続されているか
- 接続機器のACプラグまたはACアダプターが正しくコンセントに接続されているか
- 接続機器が本機と通信可能な電源モードや入力になっているか

ペアリング済みの相手機器で音声の Bluetooth™ 送信を行っても、接続機器から音が出ない、または、再生中に音が出なくなる、音が途切れる

下記を確認してください。

- 相手機器が本機と Bluetooth™ 接続されているか
 - Bluetooth™ 通信が切断されている場合は、再接続してください。
- 本機が相手機器から 10m 以内の場所にあるか
- 2.4GHz帯の電波を発する機器（電子レンジや無線LANなど）が近くで動作していないか
- 相手機器の Bluetooth™ 機能が使用可能な状態にあるか
- 相手機器の Bluetooth™ 機器リストに本機が登録されているか
 - 登録されていない場合は、ペアリングをやり直してください。
- 相手機器の Bluetooth™ 音声送信先が本機に設定されているか
- 本機と接続機器が正しく接続されているか
- 接続機器のACプラグまたはACアダプターが正しくコンセントに接続されているか
- 接続機器が本機と通信可能な電源モードや入力になっているか
- 接続機器の入力切替が本機に設定されているか
- 接続機器の音量が最小になっていないか

上記を確認しても音が出ない場合は、接続機器の電源を入れ直し、本機と相手機器を再接続してください。それでも音が出ない場合は、ペアリングをやり直してください。

裏面もお読みください。

■ ペ어링情報を削除する

本機に登録されている相手機器のペアリング情報をすべて削除します。

1 本機のBLUETOOTH接続ケーブルを接続機器のBLUETOOTH端子に正しく接続し、必要に応じて接続機器の電源をオンにし、入力を切り替える。

2 本機のステータスインジケータが消灯していることを確認し、ペアリングキーを押す。

本機はペアリングモード（ステータスインジケータが1秒間隔で点滅）に入ります。

3 ペ어링キーを3秒間押し続け、指を離す。

ステータスインジケータが5秒間高速点滅した後、本機が再びペアリングモードに入れば削除は完了です。ステータスインジケータが高速で点滅しなかった場合は、手順2から操作をやり直してください。ペアリングモードを終了するには、ペアリングキーを短く押ししてください。

■ 仕様

型名 TRX-R01BT
キャリア周波数 2.402 ~ 2.480 GHz
最大受信感度 - 70 dBm
Bluetooth™性能 Bluetooth™ Version 1.1 (Class 2)準拠
デコーダー AAC+
外形寸法（BLUETOOTH接続ケーブルを除く）
（幅×高さ×奥行き） 45 x 46 x 45 mm
質量 57 g
付属品 無線注意ステッカー（1枚）

※仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

製品の機能や取扱に関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 3459

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

製品の機能や取扱いに関する情報は、下記のホームページからも入手することができます。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。



〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハ株式会社